

令和2年度

廃棄物減量等推進員 活動事例

収集日程をわかりやすく周知

- 太田町町内会

カラスに荒らされない集積所を目指して

- 中野新田自治会
- 丸子東木戸自治会

工夫を凝らしたチラシで、ごみの出し方を周知

- 秋吉町自治会
- 押切自治会
- 蒲原日の出自治会

ごみ減量プロジェクト

- 八千代町自治会
… 生ごみの減量&
より多くの古紙のリサイクルを目指して



家庭ゴミの出し方：収集日程表

太田町町内会

※ゴミの出し方・分別 ガイドブックをよく読んで収集当日の午前8時30分までに正しく出しましょう。
 ※不燃、粗大ごみは戸別収集です。※事前に電話で申し込み1回出せる量は7点まで（収集日1週間前）

フリーダイヤル 0120-532-471

2020年	資源回収	不燃・粗大ゴミ	町内公営施設古紙回収
	びん・缶 第3月曜日	戸別収集の申込 第2月曜日	雨天の場合は翌日 第2水曜日
4月	20日	13日	8日
5月	18日	11日	13日
6月	15日	8日	10日
7月	20日	13日	8日
8月	17日	10日	12日
9月	21日	14日	9日
10月	19日	12日	14日
11月	16日	9日	11日
12月	21日	14日	9日
2021年			
1月	18日	11日	13日
2月	15日	8日	10日
3月	15日	8日	10日

可燃ゴミは毎週2回

火

金

※ ゴミ袋は指定された物をご使用ください。可燃ゴミの中に不燃（出等）が混じっている場合があります。正しく燃焼をお守りください。

年度初めに、
1年間の
収集日程表をまとめた
チラシを配布!



太田町町内会では、1年間の収集日程をまとめたチラシを配布しています。

チラシに掲載している表には

- 週2回の燃えるごみの収集曜日
- 月1回のびん・缶の収集日
- 月1回の不燃・粗大ごみの収集日 のほか、
太田町内会で実施している古紙の収集日がまとめて掲載されています。

月1回の収集日は、つい忘れてしまいがちです。

このようなチラシが町内会から配布されることで、助かっている方はとても多いでしょう🍀



組内供覧：カラスの生ごみ対策

令和2年5月1日

自治会会員 各位

中野新田自治会長 牧野英悟
環境美化 熊谷輝男

「カラス」を山に帰そう大作戦

○カラスの生態

- ・鳥類の中で最も知能が発達
- ・雑食性で生ごみや動物の死骸を食べる
- ・春から夏に繁殖(3月~7月)

○食性

生ごみはカラスにとって大のご馳走

○カラス対策の三か条(市の広報紙参照)

- ①生ごみを新聞紙で包む・袋を二重にする。
- ②黄色いネットの中に必ず入れる。
- ③樹木の枝・草等はネットに入れない。

※三か条の厳守は、地域の環境美化を持続します。

※三か条の厳守は、収集従事者の仕事が軽減されます。

明るく住みやすい地域づくりのために皆様のご協力をお願いします。

組内供覧：カラスの生ごみ対策

令和2年6月10日

自治会会員 各位

中野新田自治会長 牧野英悟、環境美化 熊谷輝男

第2弾「カラス」を山に帰そう大作戦

○第1弾の効果

- ・今回の大作戦の効果があつた反面、数か所の集積所では食い散らかされているのが実態です。そこで第2弾を展開します。

○生ごみはカラスにとって大のご馳走

○カラス対策

- ①生ごみを新聞紙で包む・袋を二重にする。
- ②黄色いネットの中に必ず入れる。
- ③樹木の枝・草・衣類等はネットに入れない。
- ④3切りの徹底(①食材の使い切り、②食品の食べ切り、③生ごみの水切り)を徹底する。
- ⑤前日の夜に絶対出さない。

※カラス対策は、地域の環境美化を持続するとともに、ゴミ収集に従事される市職員の仕事の軽減と新型コロナウイルスの感染防止に役立ちます。

※良いアイデアがありましたら、担当の熊谷(283-4574)までご連絡願います。

市内一の生ごみ対策の徹底と綺麗な街づくりのために、皆様のご協力をお願いします。



「カラス」を山に帰そう 大作戦

自治会・町内会の申請により、市が配布している黄色いネットの使用は、カラスによるごみ散乱被害の防止に一定の効果があります。

しかし、中野新田自治会の多数の世帯が使用する集積所では、生ごみが入っているにもかかわらず、ネットの中に収まらないごみ袋もありました。そして、そのごみ袋がカラスに狙われてしまっていました。

中野新田自治会の熊谷さんは、この問題を何とか解決したいと、「カラスを山に帰そう 大作戦」を発案!!

熊谷さんは、カラスの生態についてご自身で学んだ事とともに、効果的なカラス対策について、チラシなどで周知を行いました。

ごみ袋は必ずネットの中に入れることや、樹木の枝・草・衣類など、生ごみが含まれていないごみ袋はネットに入れないよう呼びかけ、生ごみが入っているごみ袋がネットの中に収まるようにしました。

丸子東木戸自治会 眞野さん



丸子東木戸自治会の眞野さんは、作成した回覧用チラシに“カラスによるごみ散乱被害にあった後の集積所の写真”を掲載しました。

実際にカラスに荒らされた集積所の様子がわかり、チラシを見た人の意識に訴えかける内容となっています。

また、集積所には“夜間のごみ出しの禁止”を呼びかける看板を設置しました。

ごみ散乱防止ネットの中にきちんとごみを入れていただくよう、集積所の地面にテープで印もつけています。

ごみ出しの際、必ず行く集積所。

その集積所の目につく場所でのごみの出し方、ルールの周知はとても効果的です◎

「ごみ出し」について、考えてみましょう

日頃、静岡市清掃行政にご協力いただき、ありがとうございます。
さて、以下のものを「可燃ごみ袋」に混ぜて出したら どうなるでしょう？

問題1：ビン・缶

- 答え1：① 収集してもらえません。
② 出した方は、直ちに持ち帰り、分別してください。
③ ビン・缶は「資源ごみ」に出してください。

問題2：不燃物

- 答え2：① 収集してもらえません。
② 出した方は、直ちに持ち帰り、分別してください。
③ 不燃物は、「不燃・粗大ごみ」として、
不燃・粗大ごみ受付センターに戸別収集を申し込んでください。

問題3：充電式リチウム電池等

- 答え3：① 収集してもらえません。
② 出した方は、直ちに持ち帰り、分別してください。
③ 万が一、収集されたら大変です。
電池に過度な力が加わると、発熱・発火し、
ごみ収集車が、燃える可能性があります。
④ 電池は、充電式電気かみそり、電子たばこ等に内蔵されています。
⑤ 分別し「不燃・粗大ごみ」として、
不燃・粗大ごみ受付センターに戸別収集を申し込んでください。

問題4：スプレー缶・カセットボンベ・ライター

- 答え4：① 収集してもらえません。
② 出した方は、直ちに持ち帰り、分別してください。
③ 万が一、収集されたら大変です。可燃ガスが漏れだし
ごみ収集車が、燃える可能性があります。
④ スプレー缶・カセットボンベは、「資源ごみ」に出してください。
⑤ ライターは、分別し「不燃・粗大ごみ」として、
不燃・粗大ごみ受付センターに戸別収集を申し込んでください。

秋吉町 廃棄物減量等推進員 芹澤

“可燃ごみに
出せないものを
可燃ごみで
出してしまったら
どうなるか”
Q&A形式で紹介



さて、以下のものを「可燃ごみ袋」に混ぜて出したら
どうなるでしょう？

秋吉町自治会の芹澤さんは、見た人にごみの問題に関心を持ってもら
えるよう、工夫を凝らしたチラシを作成しました。

芹澤さんは、可燃ごみで出してはいけない「びん・缶」、「不燃・粗大ご
み」、「リチウムイオン電池」、「スプレー缶」などを、可燃ごみに混ぜて出し
てしまったらどうなるかを、**Q&A形式で紹介**。

また、正しいごみの出し方についても、併せて紹介しています。



集積所に
実際に出された物の
写真を使用し、
ごみの出し方を守るよう
呼びかけました



押切自治会の栗田さんは、資源ごみの収集日に**実際に集積所に出されてしまった回収できない物**（フライパン、コップ、化粧品のびんなど）の写真を撮り、その写真を使用し、啓発チラシを作成しました。

ごみの出し方ルール違反があることは、廃棄物減量等推進員さんや自治会の役員さんなら知っているかもしれませんが、自治会の皆さんが知っているわけではありません。

栗田さんは、実際に出されてしまったものの写真を使用することで、自治会内のごみの出し方のルール違反を、効果的に訴えています。

写真を使って
缶・スプレー缶の
出し方について
周知

令和2年6月15日
日の出自治会
廃棄物等減量推進委員

回覧

空き缶・スプレー缶の出し方のお願い

こんにちは！日の出地区廃棄物等減量推進委員の8組大津です。
空き缶とスプレー缶の出し方について、再度確認をお願い致します。

スプレー缶が他の飲料缶と混ざっている



スプレー缶はプラスチックのキャップなどは取り除いて



中が見える袋に入れて、缶の回収の日(毎月第二木曜日)に出してください



日の出地区で「気持ちのいい」資源ごみ回収を目指しましょう！

蒲原日の出自治会の大津さんは、チラシに写真を掲載し、効果的に缶の出し方を周知しています。

写真に撮った缶は、ご自身が出す予定のごみを利用されました。

悪いごみの出し方の例、良いごみの出し方の例が両方載っているので、気をつけなければいけないポイントがすぐわかります◎

大津さんが取り上げてくださいました“スプレー缶”は、出し方を誤ると、収集車の火災につながりかねません。

このように自治会の皆様に周知していただき、ありがとうございます！

八千代町自治会 ごみ減量プロジェクト

榊原さん

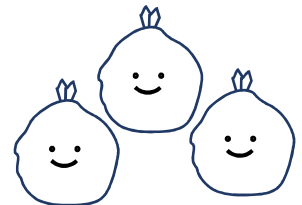
八千代町自治会の推進員である榊原さんのご提案によりスタートした令和2年度のごみ減量プロジェクト。

八千代町自治会の皆様と静岡市が協力し、ごみの減量に取り組んでいます。

プロジェクト内容

①「3切り」にチャレンジし、生ごみを減量

1. 食材の使い切り …食材は必要な分だけ買う
2. 食品の食べ切り …料理の作りすぎに注意する
3. 生ごみの水切り …生ごみは80%が水分
出す前に「ぎゅっ」と一絞り!



静岡市の可燃ごみの
約40%を占める生ごみに
着目しました



②「雑がみ」の分別を行い、生ごみの減量&資源のリサイクル

「雑がみ」を自治会が実施している古紙回収に出すことで、資源を有効活用 & 自治会の財源確保!

静岡市では、団体からの申請により古紙等資源回収活動奨励金を交付しています。
※令和2年度 古紙等資源回収活動奨励金:4円/kg

プロジェクト実施手順

- I. 八千代町自治会にて市政出前講座を実施&プロジェクトの概要を静岡市より説明。
- II. プロジェクト実施期間中(令和2年10月~令和3年3月)、八千代町自治会の可燃ごみの量を計量。
- III. プロジェクトの実施期間中の可燃ごみの量の推移を、市政出前講座にて発表。



市政出前講座の様子

皆様のお住いの地域でも、ぜひ取り組んでみませんか?

一緒に頑張ってみようかな…という地域の皆様、大募集中です☆

